北海道
東川町
－写真の町－
写真文化首都

ひがしかわ 議会だより

第48回ひがしかわ氷まつり　議員会雪像づくり

第４回定例会を開催……2～4
第７～８回臨時会を開催……4～5
ここが聞きたい！一般質問に６議員が登壇……6～11
議案審査結果……12～13
議会日誌……14

No.192
令和４年２月１日発行
発行：東川町議会
編集：議会報編集特別委員会
〒071-1492 北海道上川郡東川町東町１丁目
☎0166-82-2111

第４回 定例会を開催

●第４回定例会を、令和３年12月９日に開催しました。
●６名の議員が一般質問をしました。
●令和３年度の一般会計・２特別会計の補正予算案、連携中枢都市の形成に係る協定廃止案・連携協約締結案・条例改正案、被表彰者推薦などについて審議し、原案可決または同意済としました。

第４回定例会

一般会計補正 第８号

歳入歳出それぞれ３億６２３３万円増額し、総額は１１４億４８１３万円で、主なものは次の通りです。

歳入

①普通交付税
（４４８８万円）
国勢調査による人口増２０４名分です。

②国庫補助金
（２億９３５２万円）
令和３年度子育て世帯等臨時特別支援事業、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業、町が実施する新型コロナウイルス対策事業に対する補助金についての交付金などの増額です。

③道支出金
（２３０５万円）
地積調査費負担金は道費負担額の確定による減額７３８万円、農林業に対する道補助金増額２８００万円などです。

④雑入
（５８３万円）
10月の突風により被害を受けた農業振興センターの解体撤去と、せんとぴゅあⅠⅡの修繕にかかる共済金、農業の担い手確保経営強化支援事業補助対象機械の財産処分にかかる返還金分などです。

被害を受けた農業振興センター

歳出

①せんとぴゅあⅠⅡ管理運営事業
（２３４万円）
９月の落雷により故障した機器の修繕費と原油価格高騰による燃料費の増額です。

Q（杉本岳大議員）
施設の燃料費について原油高騰による増額は、今後さらに増える見込みですか。

A（企画総務課長）
今回対応以外の施設は熱源が電気だとか、既存予算で対応可能なため、今のところ増額は見込んでいません。

②新型コロナウイルス感染症対策事業
（２２２０万円）
町の奨学金制度を受ける学生を支援するため、年12万円の大学生等就学環境維持対策事業補助金として上乗せ交付するもので、財源は国費と町一般財源です。

③社会福祉対策事業
（２億３７７万円）
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金は、１世帯当たり10万円、１４５０世帯分を現金給付するもので、財源は全額国費です。
住民税非課税世帯等に対する原油価格高騰等福祉支援費５６００万円は、町単独事業で、世帯主１人当たり基準額最大５万円、１２３６世帯分をＨＵＣポイントで給付するもので、財源は、道の交付金、特別交付税のほか、普通交付税増額分の１／２を充てます。

Q（飯塚達央議員）
ＨＵＣポイント付与手数料１１０万円は妥当ですか。

A（保健福祉課長）
付与ポイントを１件ずつ手入力する作業に対するもので、本来ポイントに対して１％のところを、商工会側で減額対応しています。

Q（正満正義議員）
令和２年の収入により判断されると思いますが、令和３年になってから減収し非課税世帯相応になった場合は対象になりますか。

A（保健福祉課長）
対象とすべく、２００万円ほど上乗せ計上しており、ホームページなどを通じて案内します。
令和２年収入での対象者には郵送で案内し、

年内にポイント付与します。

④子育て世帯等臨時特別給付金

（1億3302万円）

国の子育て世帯等臨時特別支援事業として、年収960万円以上の世帯を除く、0歳から高校3年生までの子どもたちに1人当たり10万円1300名分を給付するもので、財源は全額国費です。

⑤健康診査事業

（299万円）

健康診断の結果をマイナポータルで情報閲覧できるシステム導入の増額です。

⑥水田麦・大豆産地生産性向上事業

（2753万円）

大豆の先進的な営農先端技術や生産性向上に向けた機械設備などの導入に対し道補助に採択されたことによる増額です。

⑦商工振興事業

（400万円）

店舗等リフォーム促進支援事業補助金の申請件数増加による増額です。

⑧土木費

（▲1295万円）

西9号、中の沢、北2条の各道路改良事業費と羽衣公園整備事業費の確定による減額です。

⑨公共施設整備基金事業

（1億730万円）

診療所特別会計繰出金の減額分を次年度に予定している診療所大規模改修事業の財源に、普通交付税増額分の1／2などを今後の公共施設の整備、維持管理のために積み立てます。

下水道会計補正 第2号

461万円減額し、総額2億7637万円です。

前年度消費税及び地方消費税額確定に伴う減額です。

診療所会計補正 第4号

416万円増額し、総額4億4361万円です。

歳入は、新型コロナウイルスワクチン接種料金による収入増、前年度会計繰越金確定による増額、一般会計繰入金の減額。

歳出は、3回目のワクチン接種に備えた会計年度任用職員増員、12月より医療費の支払いにクレジットカードが使えるよう対応したことなどの事務管理費、原油価格高騰による燃料費、諸検査委託料などの増額です。

町立診療所支払窓口

連携中枢都市圏形成に係る変更

①定住自立圏形成協定の廃止

②旭川市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議

③東川町議会の議決すべき事件を定める条例の一部改正

Q（鈴木哉美議員）

①不登校児童生徒の受入機関共同利用について当町の利用者数は。

②旭川市生涯学習情報提供システム広域的活用についての考えは。

A（学校教育課長）

①過去5年間で計4人の利用があります。

A（企画総務課長）

②連携中枢都市圏に移行し連携強化を図っていくなかで、システム活用についても検討していきます。

Q（杉本岳大議員）

企業誘致推進事業についての考え方は。

A（産業振興課長）

町の特徴を活かし、町にとって必要な産業に来てもらい、広域の中で連携していければと考えます。

A（町長）

企業立地について、旭川市、あるいは鷹栖町、東神楽町と合同で行った例があります。

町内には大企業が入るような土地はないため、企業立地は旭川、住まいは東川と協調し、サテライトオフィスなど企業の一部を町内に置いてもらう形で考えています。

※連携中枢都市圏

中核市と近隣市町村が連携し、都市機能集積とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても経済成長や生活機能サービス向上を目指すもので、旭川・鷹栖・東神楽・当麻・比布・愛別・上川・東川・美瑛の1市8町からなる「旭川たいせつ圏域連

携中枢都市圏」となりました。

請負契約の変更

萬二橋架替工事1区請負契約

橋台1台分の基礎工追加と護岸追加撤去が必要となり、契約金額995万円に2071万円増額し、1億2026万円です。

被表彰者の推薦・表彰

自治功労表彰（消防功労）

勤続30年
津谷　俊弘　氏

勤続25年
花本　直幸　氏
髙崎　隆司　氏

勤続20年
井澤　延友　氏

勤続15年
竹内　一樹　氏

勤続10年
藤川　貴康　氏
樽井　将人　氏

第7回臨時会

（10月15日）

一般会計補正 第7号

歳入歳出それぞれ455万円増額し、総額は110億8580万円で、主なものは次の通りです。

歳出

①防災施設運営事業（400万円）

9月12日に発生した落雷にて、農業環境改善センターのヒートポンプ自動制御機器などが故障したことに伴う修繕、改修にかかる費用として増額します。

②新型コロナウイルス接種体制確保事業（3633万円）

2回目接種完了からおおむね8カ月以上後に追加接種の必要があり、国の方針に基づく接種体制構築に要する費用として、会計年度任用職員報酬やワクチン接種・受付業務委託料などで、財源は、全額国庫支出金としてそれぞれに増額します。

Q（藤倉智恵子議員）
3回目の接種対象者は。

A（保健福祉課長）
現在は、接種者の8割程度を見込んでいます。

Q（鈴木哉美議員）
町内にある公共施設の避雷針設置状況は。

A（都市建設課長）
今後、避雷針の設置が有効かどうかを含めた対応で考えます。

請負契約

萬二橋架替工事1工区工事（9955万円）

上岐登牛道路の倉沼川に架かる橋梁で、53年が経過し老朽化により、早期の架け替えが望ましいことから実施するものです。

事業期間は令和5年7月完成で、今年度は旧橋解体工事と新橋橋脚基礎工事（打杭6本）までです。

Q（蔦田敏次議員）
旧橋の長さ72m、新橋が65mで、7m減ったのは何故ですか。

A（都市建設課長）
施工工法が変わって、道路の部分が長くなっています。

Q（鶴間松彦議員）
工事に関わる国や道の補助金は。

A（都市建設課長）
社会資本整備事業の交付金を活用し、残りは辺地債です。

Q（杉本岳大議員）
工事費の総額は。

A（平田副町長）
4億円を超える総事業費になります。

萬二橋

臨時会

第8回臨時会

（11月25日）

条例の一部改正

①職員の給与に関する条例

一般職の期末手当の率を「100分の127・5」から0・15月分を引き下げた「100分の112・5」に改正し、再任用職員の期末手当率を「100分の72・5」から0・1月分引き下げた「100分の62・5」に改正。

令和4年4月以降の一般職員の期末手当は、6月、12月期ともに「100分の120」に改正し、再任用職員の期末手当を「100分の67・5」に改正。

②議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例

期末手当分として「100分の222・5」から「100分の207・5」に改正し、令和4年4月以降の手当率を6月、12月支給分ともに「100分の215」に改正。

③特別職の職員で常勤のものの給料及び旅費支給条例

議会議員と同様の改正。

Q（鈴木哉美議員）
自治体によって実施時期が分かれていますが、議案を提出した根拠は。

A（企画総務課長）
翌年度に繰り越しすると、減額幅が非常に大きくなることを考慮し、3年度分の期末手当から行うことで、職員の負担を軽減するものです。

請負契約

西3号道路改良工事

（1196万円）

他事業の交付金残を本事業に集約し、工事区間を北3線道路までの47・4mを延長するものです。

実施に伴い工事契約期間を令和4年3月11日に変更します。

Q（藤倉智恵子議員）
全額、社会資本整備総合交付金で行なうのですか。

A（都市建設課長）
交付金を受けている西3号、西5号道路の執行残を有効活用します。

専決処分の報告

第三小学校校舎長寿命化改良工事の請負契約金額変更

キュービクル改修を行ったところPCBが検出され、処分にかかる経費163万円を増額します。

Q（能登暢吉議員）
PCB（ポリ塩化ビフェニル）が出た変圧器は、何基あったのですか。

A（都市建設課長）
3基で、交換することになっています。

Q（鈴木哉美議員）
含まれている低濃度の具体的な数値は。

A（都市建設課長）
1kg当たり5000mg以下のことですが、数値は承知していません。

第三小学校キュービクル（発電機）

一般質問 ここが聞きたい

（6議員が登壇）

問 新婚生活支援事業の利用状況は

答 引き続き事業を周知

薦田　敏次

（一問一答方式）

質問　令和3年度から始まった新婚生活支援事業について申請者がゼロであるようですが、現状どのように考えますか。

町長　支援事業が6月から始まり、まだそれほど経っていませんが、該当する町民には都度、支援事業の案内に努めています。

さまざまな事情により申請には至っていないと認識しております。

質問　この支援事業は国の補助で実施できた事業で、町がこの事業を認識しておらず、国への申請が間に合わなかったことで、町の財源のみで賄う独自事業となった経緯があります。

結果、本来の現金給付からHUCカードへのポイント付与に支援内容が変わりましたが、申請書類などに違いはありませんか。

保健福祉課長　申請条件や必要書類などについては、国の事業と同じです。

支援内容が現金からHUCカードポイントに変更となっています。

質問　新婚者が、なぜ申請をしないのか分析や調査などは行っていますか。

町長　申請者のプライベートな理由により申請しないものと考えます。

質問　申請には多くの添付書類が必要なので、簡単に申請できませんか。

町長　申請時の書類が簡素化できるかどうか検討したいと思います。

問 防災避難所マニュアルは

答 有事に備えて活用

質問　町の防災避難所マニュアルは完成しましたか。

町長　町は災害に備え令和2年7月の第2回コミュニティ推進会議で各自治振興会にも説明を行い、意見照会などを経て、9月から東川町避難所マニュアル、避難所開設運営マニュアルとして正式運用を開始しています。

令和2年の12月には、西部自治振興会において、防災訓練を実施し、避難所の開設、段ボールベッドの組立てなどを行いました。

その後コロナの影響もあり防災訓練が開催できない状況が続いています。

今後、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、各地域で有事に備えた訓練や啓蒙活動などを実施したいと考えています。

西部自治振興会防災訓練

問 定年延長後の町職員体制は
答 定数維持で硬直化を防ぐ

飯塚　達央

（一問一答方式）

質問　令和5年以降順次、公務員の定年が65歳に延長されるのを受け、町職員の新規採用数が減るなど硬直化が懸念されますが、中長期的な職員体制について伺います。

町長　年齢的なバランスだけでなく、時代の流れによる課題を解決する人材を確保することが大切で、最小の費用で最大の効果を得るべく、地域おこし協力隊や地域活性化企業人という国の制度をフル活用していきます。

質問　地域おこし協力隊は最長で3年の短期的な契約になり、最小の費用ではあるものの、中長期的には最大の効果とは言えないのでは。

町長　町の将来にとって必要であれば隊員を職員として採用することもありえます。

質問　数少なくなると思われる若手職員の育成の取り組みを伺います。

町長　外部や民間の人たちと出会うことが刺激になり志気が上がります。いかにその出会いの機会を増やすかを大切に考え、職員に奨励していきます。

質問　正職員の定数は決められているそうですが、人口や財政規模が増えているなか負担も大きく、人数が不足しているのではありませんか。

市川副町長　120名の定数は条例で定めたものです。人口がこの先も右肩上がりに増え続けるのか、行政改革の考えもあり、現状では定数を守るよう職員採用をしていきます。

質問　町に子ども達が増えているにも関わらず、卒業後に町を離れる若者がほとんどです。育っていくなかで町のことを誇りに思うようになり、将来役場で町づくりの仕事を担いたいと思う子が増えるように思うと、地元採用枠などを設け、地域の雇用の受け皿としての役割を果たすべきだと思いますが。

町長　地元の雇用を増やすために必要なのは、何よりも町の人口を増やすことです。人口増の施策に加え、稼ぐ行政として税収以外の新しい分野を取り入れる必要があります。それらの新しい課題を解決していく場を作ることが雇用に結びつくと考えます。

問 EV充電設備を
答 来年度設置

質問　電気自動車（EV）普及のために不可欠な充電設備を、観光客や関係人口の増加のために、せんとぴゅあ、キトウシなど町の公共施設に整備する具体的な計画はありますか。

町長　EVで来町される方が今後増加することが予想されるため、せんとぴゅあ、道草館、Zenなどのほか、宿泊施設のキトウシのケビン周辺に設置するのが良いと考えています。

来年度に何機か設置したいと計画しています。

旭山動物園EV充電スタンド

問 地球温暖化防止、町の取り組みは

答 独自支援を継続中

鶴間　松彦

（一問一答方式）

質問 太陽光やその他の再生可能エネルギーについて、町の補助金の実績を伺います。

町長 太陽光発電パネルの設置で、平成23年から29年まで69件の支援をしています。

平成30年から国の支援も廃止されたことから現在は行っていません。

燃料の削減に対する支援では、平成26年から現在まで薪ストーブの設置補助を112件行っています。

気密性の高い住宅に対する、きた住まいるの建設推進事業を、平成26年より127件の支援を行っています。

質問 道内では50の自治体で太陽光に対する補助をしています。

効率もよく、1kwあたり30円から40円の価格で買うよりも自分で発電したほうが経済的にも有利だということが家庭の中でもわかっています。

希望する世帯に対して、町独自の補助制度を推進してはどうですか。

町長 固定価格の買い取り制度は法律によって定められています。

電気を使っている家庭は使用料に応じての料金と賦課金を払っていますが、賦課金ではひと月に600円から700円の負担増になっています。

国が支援を復活したり特別賦課がなくなれば、何らかの形で支援をするのが良いと思っています。

質問 再生可能エネルギーは小水力発電、さまざまなバイオ関係の発電、自然エネルギーの活用などがありますが、個人や団体に対して町独自の支援を行う考えはありますか。

町長 世界的に見ても二酸化炭素の排出量の4割は電力の分野によるものといわれています。

住民の皆さんと取り組んでいけるところは積極的に支援を考えています。

なるべく電気を使わないような住宅の関係、木材に対する支援など、社会変化に取り組みながら実行していくことが大切だと思っています。

質問 町の公共施設に対して、再生可能エネルギーの設置をしてはどうですか。

町長 現在、東川小学校、旧西部の処理区、第三地区のコミュニティセンター、改善センターなどで使っています。

問題になっているのが、景観のいいまちづくりを進める中で、周辺との調和というものもあります。

キトウシの温泉整備ではできる限り太陽光発電など、再生可能エネルギーを利用しようと、提案も頂いています。

問 高齢者の見守り訪問は

答 体制を強化

質問 団塊の世代を中心に高齢化も進んで行きますが、高齢者の見守り訪問はどのようになっていますか。

町長 機器の設置や緊急通報装置の貸与などを行っています。

多様化するニーズに対してきめ細やかな対応が必要と思っています。

保健福祉課長 民生委員の協力で高齢者世帯や独居老人の方の情報共有を行っていて、適宜訪問をしています。

コロナ感染症の影響で直接訪問は控えていますが、今年度は見守り体制を強化します。

問 コロナ感染、今後の備えは
答 関係機関との連携

安原　芳博

（一問一答方式）

質問　新型コロナ対策、これまでの教訓と今後の備えを伺います。

町長　住民や職員は、冷静かつ迅速に対応することができたと思います。

さまざまなサービスが止まることがありましたが、災害時には公務の果たす役割は大きいということを学びました。

今後も道や保健所、関係機関との連携を緊密に行っていきます。

質問　ソフトバンクのPCR検査の北海道センターを利用する考えはありますか。

抗原検査キットの全世帯配布や、パルスオキシメーターの貸し出し、購入者への補助は。

町長　診療所とも協議をしましたが、PCR検査センターは、現在のところ利用する考えは持っていません。

早期に感染状況を把握するため、発熱外来を設置し、簡易キットの抗原検査も準備しています。

パルスオキシメーターでは、平常時の数値を把握しておくのが必要です。

血圧の測定器はコミュニティーセンター、役場、道草館などに設置し、希望者は日常の数値を把握できるように検討したいと思います。

パルスオキシメーター

質問　2回目のワクチン接種は12月末までですか。

抗体カクテル、点滴療法や飲み薬が認可になった場合に診療所で取り扱うことができますか。

市川副町長　2回目接種については12月20日の予約があり、年明けは1月17日より行います。

接種率も80％を超えています。

3回目も8ヶ月後ですので、医療関係者は12月より、高齢者や一般の方は2月より接種開始になると思います。

診療所事務長　抗体カクテル療法は、軽症の患者に対して重症化を防ぐことを目的にしています。

点滴で投与し、副作用が生じないか経過観察を行います。

治療には重症化のリスク要因があるのか、酸素投与を必要としない軽症なのか、発症から7日以内の3つの条件があります。

軽症の陽性者となれば、診療所は外来と入院が一体の施設ですので、陽性者の受け入れは現在できません。

質問　12月より始まるワクチン検査パッケージの概要の説明をお願いします。

保健福祉課長　12月中旬よりワクチン接種証明書がデジタル化され、専用アプリから申請できます。

引き続き、紙による証明書も利用できます。

広報などで周知します。

問 高齢者世帯住宅リフォーム申請基準は

答 二つの支援制度で対応

山家　祥幸

（一問一答方式）

質問

高齢者世帯住宅リフォーム申請基準を次のように変えてはいかがですか。

○「満75歳以上が居住」を「満70歳」に引き上げ、「満65歳以上の方が所有し居住する非課税世帯」の「非課税」を撤廃する。

○所得400万円の制限を設け、補助率を工事費の2分の1以内、上限を25万円から40万円に引き上げる。

○「所有者が本人または1親等以内」を「2親等」にする。

町長

本町には、リフォーム事業とバリアフリーの改修の2つの支援があり、組み合わせると上限50万円の補助が受けられます。

申請基準の見直しですが、1親等から2親等については、どういう事例があるのか具体的に出てきたときに相談してください。

所得の制限、その他は非課税世帯となっていますが、どこまで緩和するかを含めて前向きに検討し、3月の予算時期に提案していきます。

問 部活動に熱心な教員を

答 選定し今後も努力する

質問

部活動の環境を作るのは教職員の力で、スポーツに長け、熱心な先生を確保することが非常に重要であり、保護者も先生の異動には大いに関心を持っています。

このようなことを踏まえて、教育長は具体的にスポーツ振興の観点から、教員確保についてどう考えますか。

教育長

人事異動のときは校長と相談をして、一番は子どもたちの学力の向上という観点で、優れた教育活動ができる先生を希望します。

次にスポーツ指導ができる先生を選定して今後も努力をしていきます。

質問

部活動の活発な学校は、活気がみなぎり、子どもたちも生き生きしているように思えます。

知る限りでも、部活動の顧問が熱心に指導している学校は、大会などの成績も優秀です。

部活動の熱心な先生の確保に尽力いただければと思います。

教育長

教員の指導力が、子どもたちのアスリートとしての夢を実現するとか、学校教育の中でも生徒指導がしっかり行き届いた礼儀正しい生徒になっていくとかに影響する面もあると思いますので、引き続き良い教員を入れていきたいと思っています。

卓球練習風景

問 織田コレクションの保管方法は
答 町施設で直接保管を検討

藤倉 智恵子

（一問一答方式）

質問 織田コレクション家具の保管費は、どのようになっていますか。

町長 保管費は取得完了の令和3年3月分まで支出しておりません。

質問 現在の保管場所と保管点数を教えて下さい。

町長 椅子は東町会館で470脚、永山倉庫で762脚、織田私邸で81脚、合わせて1313脚あります。

その他小物は町や織田私邸に点在し、引き渡しを受けていない物もあり、引き渡しを受けていない物は、図録を完成後に引き渡しを予定しています。

質問 織田氏は、公有化を進める5年間は町職員として雇用すると記憶しているが、その後の雇用は。

町長 令和5年3月まで町職員として活動するが、それ以降については、取り決めはしておりません。

質問 織田氏は非常勤で雇用しているがどのような仕事をしていますか。

デザインスクール特別編「椅子の日に、椅子の話」vol.5

町長 公有化したコレクションを国内外に情報発信、展示の際の助言などアドバイザーの役割を果たしております。

質問 今後のコレクションの保管方法は。

町長 デザインミュージアムなどを検討し、町施設で保管できるようにしたいと思います。

問 種子購入助成を
答 助成は考えていない

質問 来年度、種子購入助成は検討できませんか。

町長 所得補償的な種子の購入助成は考えていません。

新品種の種子を普及し産地として確立を目指す支援や資金不足による融資に対する支援であれば考えることはできます。

問 トロン温泉の進捗は
答 財源確保に努めている

質問 キトウシのトロン温泉の進捗状況は。

町長 現在、実施計画を発注しています。

課題として、ウッドショックにより木材などの建築資材が当初の計画より高騰しており、一般財源より5～6億円、国交付金を併せて総額17億円ほどになるかと考えられ、財源の確保に鋭意努めている段階です。

（令和3年10月15日）

議　決　の　内　容	結　果
・40,550千円を増額し、総額を11,085,802千円とする	原案可決
・萬二橋架替工事１工区請負契約（契約金額99,550千円）	原案可決

（令和3年11月25日）

議　決　の　内　容	結　果
・人事院勧告に基づく期末手当支給率の改正に伴う条例の改正 〃 〃	原案可決 〃 〃
・西３号道路改良工事請負契約（契約金額61,347千円）	原案可決
・東川第三小学校校舎長寿命化改良工事（契約金額248,171千円）	報　告　済

（令和3年12月9日）

議　決　の　内　容	結　果
・362,328千円を増額し、総額11,448,130千円とする。 ・4,609千円を減額し、総額276,367千円とする。 ・4,163千円を増額し、総額443,613千円とする。	原案可決 〃 〃
・定住自立圏の形成に関する協定が廃止となることに伴う改正	原案可決
・消防功労表彰７名（津谷　俊弘氏、花本　直幸氏、髙崎　隆司氏、井澤　延友氏、竹内　一樹氏、藤川　貴康氏、樽井　将人氏）	原案同意
・旭川市との定住自立圏の形成に関する協定の廃止 ・地方自治法第252条の２第１項の規定に基づく連携協約締結 ・工事請負金額「120,263,000円」に変更	原案可決 〃 〃
・総務文教・産業建設・議会運営の各委員長からの申し出	原案可決

●●●●●●●●議会を傍聴しませんか●●●●●●●●

次回は3月7日～14日の予定です。

町議会では、町民の暮らしに関する重要な事柄が審議されています。

議場は、役場3階、傍聴席はコロナ対策で15席程度に限定しています。
団体の傍聴は、資料の準備もありますので、事前にお知らせください。

議会事務局　82－2111

第７回臨時会の議案審議結果

区　分	議　件　名
補正予算	・令和３年度　東川町一般会計補正予算（第７号）について
その他案件	・萬二橋架替工事１工区請負契約について

第８回臨時会の議案審議結果

区　分	議　件　名
条　例	・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・特別職の職員で常勤のものの給料及び旅費支給条例の一部を改正する条例の制定について
その他案件	・西３号道路改良工事請負契約の変更について
報　告	・専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更について）

第４回定例会の議案審議結果

区　分	議　件　名
補正予算	・令和３年度東川町一般会計補正予算（第８号）について ・令和３年度東川町公共下水道事業特別会計補正予算（第２号）について ・令和３年度国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算（第４号）について
条　例	・東川町議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例の制定について
人事案件	・被表彰者の推薦について
その他案件	・定住自立圏の形成に関する協定の廃止について ・旭川市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について ・萬二橋架替工事１工区請負契約の変更について
そ の 他	・閉会中の所管事務等の調査の申し出

全員協議会の開催状況

区　分	開　催　日	議　件　名
第11回全員協議会	令和３年12月９日	1）使用料・手数料、押印の見直しについて 2）テレワーク施設の運用について 3）財産の取得について 4）地方創生拠点整備交付金事業について 5）そ　の　他

議会日誌

11月

19日　例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
25日　令和３年東川町議会第８回臨時会
　　第４回定例会前各常任委員会
28日　東川町文化連盟70周年記念式典

東川消防団出初式

二十歳を祝うつどい

12月

２日　議会運営委員会
９日　令和３年東川町議会第４回定例会
　　美しい風景づくり表彰式
22日　一部事務組合・大雪地区広域連合定例会
23日　例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
27日　東川高校の今後の展望に関する意見交換会

１月

５日　東川消防団出初式
７日　議会報編集特別委員会（１回目）
９日　二十歳を祝うつどい
13日　議会報編集特別委員会（２回目）
15～17日　第48回ひがしかわ氷まつり
19日　例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
20日　議会報編集特別委員会（３回目）
21日　上川町村議会議長会役員会（旭川市）
28日　上川中央部議会議長会定例会議（上川町）

第48回ひがしかわ氷まつり

会議の記録はせんとぴゅあII閲覧室とホームページで見ることができます。